

市川市役所 様

2002年5月にオープンした市川市の「いちかわ情報プラザ」では、産官学民の地域連携により、交流促進、情報提供、人材育成、創業支援といったサービスを行っています。市民主体の地域情報センターとして、またコミュニティ・ビジネス創出のためのインキュベーション施設として、幅広いユーザー層と支持層を獲得し、地域振興のサポート・センターとして提供するサービスの一環としてMediaDEPOを活用しています。



業務内容

市民主体のまちづくりをリードする「いちかわ情報プラザ」

JR総武線の本八幡駅南口にある6階建てのビル「いちかわ情報プラザ」は市川市の情報拠点として運営されています。このプラザは市川市の「中心市街地活性化基本計画」に沿って設立されたもので、NPO法人の「いちかわライフネットワーククラブ」(I-LNC)が運営主体となっています。公設ではありますが、市民による市民のための情報プラザです。

館内は1階にはインターネット・カフェ、2階は電子市役所、3・4階はSOHOオフィス、5・6階が市川市役所情報システム部となっており、およそ前例のない斬新なスタイルのビルとなっています。



1階のインターネットカフェ「クイーンズベリー」

MediaDEPOを利用したサービス提供

“いつでも”“どこでも”アクセス！理解しやすい動画による行政窓口サービス案内

Webによるワンストップとノンストップのサービスの提供

この「いちかわ情報プラザ」の2階にある行政窓口案内では、暮らしと生活、健康・保健、出産、子育て、高齢者介護などに関する行政手続きの説明を動画で配信しています。富士ゼロックスが提供する動画検索システム「MediaDEPO」により、利用者はこれらの手続きについてキーワードで問い合わせるだけで、動画・音声などのマルチメディアを利用した説明をWebを通じて受けられるしくみとなっています。特に生活まわりの行政情報は、必要ときに得られなければ意味がありません。その点、このサービスはノンストップで24時間いつでも利用できるようになっています。また、一度検索すれば目的の情報へ適切にナビゲートしてもらえるので、相談者がいろいろな部署に相談したり、手続きをやり直したりする心配のない、ワンストップサービスのメリットもあります。

MediaDEPOを利用してすばやく情報にアクセス！

たとえば、市内に住む人が引越をする。大量に出るゴミを、何曜日に、どこで引き取ってもらえるか、手数料はいくらかかるのかといったことを知りたいはず。そこで『廃品回収の手数料』というキーワードを使って、MediaDEPOで検索すると、『廃品回収の手数料』に関する映像が表示されます。ゴミの収集に関するビデオを最初から最後まで見ることなく、『手数料は100kgまでは無料です』と説明している箇所だけを閲覧することができるようになっています。

情報プラザに限らず、インターネットでも受けることのできるこうしたノンストップとワンストップのサービスを提供することで相談者の負担を軽減し、市民満足度向上に努めています。

【いちかわインターネット放送局】



見たい情報に
すぐアクセス！



理解しやすい動画と
資料による配信



24時間いつでもどこでも
情報にアクセス！



◆お客様サイト

「いちかわインターネット放送局」 <http://www.city.ichikawa.chiba.jp/iibs/index.html>